所属長	研究者

看護研究発表時の倫理チェックリスト（自己チェック）

年　　月　　日

抄録　・　学会発表　・　院内発表　・　論文投稿

所属［　　］　研究者［　　］

研究テーマ［　　］

項目	ﾁｪｯｸ欄
■原稿について	
1．発表先が提示する形態・様式に則っている	
2．表題・キーワードは、内容を適切に表現している	
3．目的は、文献検討の後、明らかにする内容が明確である	
4．研究方法（データ収集・分析方法の手順）は、具体的に示されている	
5．倫理的配慮がなされている	
1）研究データは、研究に必要な情報に限られており、対象が特定される記述がない（職業、病名、家族など患者情報は最小限とし、A 氏、B 病院、○歳代や発達段階、上旬、病日などの表現を用いている）	
2）個人が特定されない画像データを用いる場合でも対象者に承諾を得ている	
3）対象者の尊厳がまもられた文章表現である	
4）倫理委員会の承認を得たことを記載している	
5）対象者に研究と発表の同意を得たことを記述している	
6）対象者に不利益や負担が生じないよう配慮した記述がある	
7）文献の引用は正しく行い、発表先の規定に則って表記されている	
8）既存の尺度は使用許諾を得ている	
9）必要時、利益相反の有無を示している	
10）未発表・未投稿の研究である	
6．結果は、事実を客観的に示している	
7．考察は、得られた結果に基づいた解釈で、文献検討が適切に行われている	
8．結果・結論は、研究目的に沿っており、一貫性がある	
9．研究の限界が述べられている	
10. 研究倫理の教育研修*を受講している（＊備考に表示した①②どちらかを視聴している）	
■原稿の開示について	
11. 対象者に開示について説明し、求められた時は開示する（開示日程が決まっている場合：　　年　　月　　日　立ち合人の氏名：　　）	
備考 ①ICRweb の e-learning「臨床研究の基礎知識（天理よろづ相談所病院版）」9.研究倫理と被験者保護 ②ナーシングスキル動画「楽しくやろう看護研究　講義３研究計画―倫理的配慮と研究計画」	

2024.4.1. 看護部倫理委員会改訂